

I 類 B

専 門 問 題

令和 3 年 9 月 施 行 職 員 採 用 （ 保 健 師 ）

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は全部で **15 題**あり、ページ数は **16 ページ**、試験時間は **1 時間 30 分**です。
- 2 択一問題については、選択肢（1～4）の中から正答を一つ選び、その番号を解答用紙【択一】に記入してください。
- 3 記述問題については、解答を解答用紙【記述】（**A**～**C**）に記入してください。
- 4 この問題用紙は、持ち帰ることができます。



1

保健師が行う地区活動として、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 量的データと質的データを有効活用しながら地区の状況を把握する。
- B 地区にある社会資源だけでなく、近隣地域の社会資源も含めて活動する。
- C 相談を受けた住民からの要望を最優先に考え、地区活動を展開する。
- D 地区活動の対象は、その自治体に住民登録している者を優先とする。

1 AとB

2 BとC

3 CとD

4 AとD

Aさん（60代、女性）は、夫との2人暮らしで、同じ市内に、長女家族が暮らしている。週に2～3回、長女がパートの仕事の間、Aさんが孫の面倒を見ている。

この度、Aさんは肺結核（塗末陽性）と診断され、専門医療機関に入院した。保健師の対応として、正しいものを選びなさい。

- 1 処方された抗結核薬は、飲み忘れのないよう、入院中から地区担当保健師が地域 DOTS を実施する。
- 2 入院している間に、Aさんが過ごした自宅の部屋やトイレ等の消毒を行うよう、夫に指導する。
- 3 同居していない長女家族についても、Aさんとの接触状況を確認し、接触者健診の必要性を判断する。
- 4 退院後も排菌する恐れがあるため、同居の夫は N95 マスクを着用し、別居の長女家族のマスク着用は不要であると指導する。

「統計法」における基幹統計に関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 人口動態調査は、基幹統計調査の1つであり、人口動態統計を作成するため、「戸籍法」および「死産の届出に関する規定」により届けられた、出生・死亡・死産・婚姻・離婚の5事象を把握する全数調査である。
- B 国民生活基礎調査は、厚生労働省により実施される、世帯（世帯構成員、年金加入状況など）・所得（所得額、課税額、生活に関する意識など）などの国民生活の基礎的事項に関する標本調査である。
- C 医療施設調査は、医療機関を利用する患者の傷病の状況等の実態を明らかにするために厚生労働省により実施される、10月の3日間のいずれか1日の受療率や患者数を推計する標本調査である。
- D 学校保健統計調査は、学校における児童等の発育や健康の状態を明らかにすることを目的に、対象施設に在籍する満7歳から18歳まで（4月1日現在）の児童及び生徒を調査客体とした、文部科学省により毎年実施される標本調査である。

- 1 AとB 2 BとD 3 CとD 4 AとC

在宅難病患者への支援における保健師の役割として、正しいものを選びなさい。

- 1 要配慮者のうち、迅速な避難の確保が特に必要な避難行動要支援者名簿を作成した。
- 2 設置が義務付けられている難病対策地域協議会を定期的を開催し、地域課題を検討した。
- 3 難病対策の業務として、個人・家族への支援のほか、地域ケアシステムづくりを推進した。
- 4 難病患者就職サポーターを兼ねているので、ハローワークと連携し、就労相談会を開催した。

「労働安全衛生法」について、正しいものを選びなさい。

- 1 平成26年の改正により、常時30人以上の労働者を使用する事業者に対し、労働者のメンタル不調の未然防止等を目的に、医師や保健師等によるストレスチェックを実施することが義務付けられた。
- 2 労働災害防止の取り組みは労使が一体となって行う必要があり、一定の基準に該当する事業場には、安全委員会や衛生委員会（または両委員会を統合した安全衛生委員会）を設置することを義務付けている。
- 3 1週間の労働時間が50時間を超えた時間が1月当たり100時間を超え、かつ、当該労働者の疲労の蓄積が認められる者について、労働者から申し出がある場合には、産業医による面接指導を行わなければならない。
- 4 賃金の支払いの原則や労働時間の原則、休日および年次有給休暇、産前産後の休業や育児時間など労働条件に関する最低基準を定めるほか、業務上の災害補償や監督機関などについて定めている。

保健師が業務を行うにあたり適用される守秘義務を規定した法律として、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 保健師助産師看護師法
 - B 地域保健法
 - C 個人情報の保護に関する法律
 - D 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
- 1 AとB 2 BとC 3 CとD 4 AとD

「地域保健対策の推進に関する基本的な指針（平成27年3月27日厚生労働省告示）」に関する記述として、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 保健所長が健康危機管理体制の管理責任者となることが望ましい。
- B 保健所は、住民に身近な保健サービスを介護サービス又は福祉サービスと一体的に提供する。
- C 地域保健対策に関する計画は科学的根拠に基づいて策定する。
- D 地域においてサービスが包括的に提供されるよう市町村や関係機関等と役割分担を強化する。

- 1 AとB 2 BとC 3 CとD 4 AとC

精神疾患とその症状や特徴の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。

- 1 統合失調症 — ある特定の状況やできごとがストレスとなり、つらく耐えがたく感じられ、気分や行動面に症状が出る。
- 2 レビー小体認知症 — 認知症のなかで患者数が最も多く、主な症状は記憶障害、判断力の低下、見当識障害などである。
- 3 神経症性障害 — ストレスの多い環境や精神的不安などの蓄積などにより発症し、強迫性障害や不安障害などが含まれる。
- 4 双極性障害 — 心因性の心身の機能障害であり、息切れ・動悸や自律神経の変調などの身体症状をおこす。

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」における障害福祉サービスの説明として、正しいものを選びなさい。

- 1 居宅介護（ホームヘルプ）とは、介護の必要性が著しく高い人に、居宅介護など複数のサービスを包括的に提供することをいう。
- 2 共同生活援助（グループホーム）とは、主として夜間において、共同生活を営む住居で、相談や日常生活上の援助を行うことをいう。
- 3 同行援護とは、自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援や外出支援を行うことをいう。
- 4 児童発達支援とは、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援や治療を行うことをいう。

担当地域に住むAさんから近隣のBさんについて、以下の相談があった。

Aさん宅とBさん宅は、20年前に開発された新興住宅地に同時期に引っ越してきて以来、家族ぐるみの付き合いである。4～5年前からBさん宅の息子が学校にも行かず自宅で昼夜逆転の生活をしていると聞いていた。最近ではBさん自身も活気がなく暗い表情のことが多い。電話で話していた際には、息子と思われる男性の怒鳴り声が聞こえた。Bさんも対応に困り果てている様子で、最近では、食欲もなく、夜も眠れないと言っており心配である。友人として自分に何かできることがないか。ただし、他所様の家のことでもあり自分が保健所に相談したことは内緒にしたい。

地区担当保健師の初回の対応として、最も適切なものを選びなさい。

- 1 AさんにBさん宅の様子を定期的に確認してもらおう。
- 2 AさんからBさんに保健所への相談を勧めてもらおう。
- 3 Aさんに同行してもらいBさん宅を訪問する。
- 4 AさんからBさんに医療機関受診を勧めてもらおう。

健康危機管理の4つの側面に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。

- 1 未然防止には、サーベイランスや自然災害における天気予報が含まれる。
- 2 発生時に備えた準備には、マニュアル整備や災害時要配慮者支援が含まれる。
- 3 発生時の対応には、情報収集・判断・発信や初動活動が含まれる。
- 4 被害の回復には、物資の確保、関係機関との連携、教育訓練が含まれる。

平成21年に「保健師助産師看護師法」及び「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が改正され、看護職の生涯にわたる研修が明記された。

次の文章の空欄に当てはまる語句として、正しい組み合わせを選びなさい。

(看護師等の責務)

第六条 看護師等は、保健医療の重要な担い手としての自覚の下に、し、かつ、多様化する国民の保健医療サービスへの需要に対応し、研修を受ける等自ら進んでその及び向上を図るとともに、自信とを持ってこれを看護業務に発揮するよう努めなければならない。

<「看護師等の人材確保の促進に関する法律」抜粋>

- | | | | |
|---|--------|-----------|------|
| 1 | ア 専門分化 | イ 専門技術の維持 | ウ 責任 |
| 2 | ア 高度化 | イ 専門技術の維持 | ウ 気概 |
| 3 | ア 専門分化 | イ 能力の開発 | ウ 意欲 |
| 4 | ア 高度化 | イ 能力の開発 | ウ 誇り |

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「感染症法」という）における5類感染症について、以下の設問に答えなさい。

感染症発生動向調査は、感染症法に基づく施策として位置づけられた調査で、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の や医療機関への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止することを目的としている。

5類感染症は、全数把握疾患と定点把握疾患に分類されている。

全数把握疾患は、平成29年9月現在、22疾患となっており、感染症法第12条により、診断した医師は7日以内に管轄の保健所へ届け出ることになっている。ただし、侵襲性髄膜炎菌感染症、, については、診断後、直ちに管轄の保健所へ届け出ることになっている。

定点把握疾患は、平成29年9月現在、26疾患となっており、発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要はないものである。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は、患者の発生状況を届け出ることになっている。

- 1 にあてはまる語句を記入しなさい。
- 2 , にあてはまる疾患名を記入しなさい。
- 3 定点把握疾患に指定されている疾患名を2つ記入しなさい。

①	
②	

解答は、解答用紙 に記入しなさい。

難病相談支援センターについて、以下の設問に答えなさい。

1 空欄に適切な語句を記入しなさい。

難病相談支援センターは、に基づき、難病の患者の療養生活に関する各般の問題について難病の患者及びその家族その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行い、難病の患者の療養生活の質の維持向上を支援することを目的とする施設で、に設置されている。

2 事業内容を3つあげなさい。

①	
②	
③	

解答は、解答用紙に記入しなさい。

Aさん（16歳、女子）は、幼い頃より手がかからず、成績も優秀だったが、高校生になり学校は休みがちになった。家では自室にこもり、毎日、インターネットやゲームをして過ごすようになった。最近では、入浴やトイレ後の手洗いに数時間かかるなどの行為が見られるようになり、食事、入浴、排せつ以外、自室からは一歩も出ていない。

心配した母からの電話を受け、保健師は母との来所面接を定期的実施した。その後、母が「保健師に相談している」「保健師に会って話をしてみてもどうか」とAさん自身に提案したところ、Aさんの反応は、嫌と言うわけでもなく、黙って、母の話を聞いていたとのことであった。母からその様子を聞いた保健師は、ぜひ、Aさんに会ってみたいと考えた。

- 1 家庭訪問では、相手と保健師の信頼関係の形成・維持を重視したかわりが求められる。保健師が対象者に受け入れられる家庭訪問を行うために、あなたならどのような対応をするか、2つあげなさい。

①	
②	

- 2 この家庭訪問で収集すべき情報を3つあげ、具体的内容を説明しなさい。

収集すべき情報		具体的内容
例	家族状況	家族が日々のAさんのケアに消耗している可能性があるため、心身の健康に影響がでているような家族が他にはいないか、訪問時にその存在の確認や健康状態の把握を行う。
①		
②		
③		

解答は、解答用紙 C に記入しなさい。

【 メ モ 】